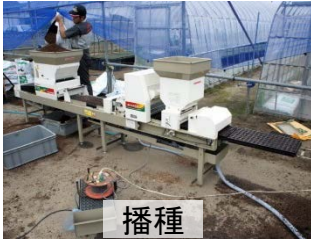


土地利用型経営体のキャベツ機械化体系

技術の概要

土地利用型経営体について、水稻作にキャベツ作を組み合わせることで、収益の向上を目指す。キャベツは、加工業務用途を対象に機械化一貫体系で導入し、軽労化および省力化を図る。



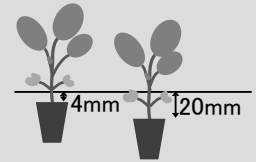
機械化体系を支援する技術



無追肥の長期育苗により、初期生育を確保しやすい



畝内中央の根域に施肥することでコスト削減が期待される

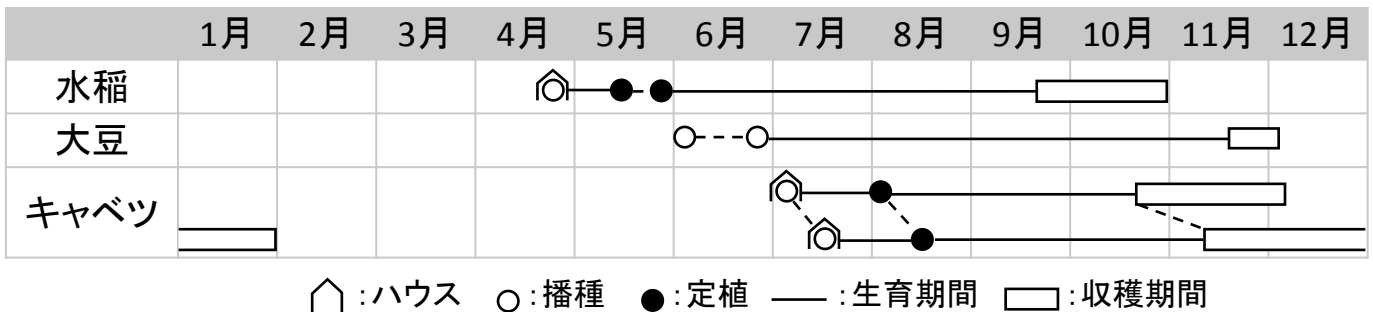


キャベツの傾き制御

セル苗を深植えることで、キャベツ結球が傾きにくくなる

期待される効果

- 機械化体系を導入することで、各種作業を省力的に進められる。
- 水稻作や大豆作の農閑期にキャベツ作を導入することで労働時間の平準化が可能。



【お問い合わせ先】

農研機構東北農業研究センター、畑作園芸研究領域

(Tel: 019-643-3465)